

中学校 2 年生 保健体育科学習指導案

1 単元名 「 第 4 章 障害の防止 」 （ 自然災害に備えて ）

2 単元について

小学校では、交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止、すり傷や鼻出血などの簡単な手当などを学習している。ここでは、傷害の発生には様々な要因があり、それらに対する適切な対策によって傷害の多くは防止できること、応急手当は傷害の悪化を防止することができることを理解できるようにすることが必要である。また、包帯法や AED（自動体外式除細動器）の使用を含む心肺蘇生法などの応急手当ができるようにすることが必要である。さらに、危険を予測し、その回避の方法を考え、それらを表現することができるようにすることが必要である。このため、本内容は、交通事故や自然災害などによる傷害は人的要因、環境要因及びその相互の関わりによって発生すること、交通事故などの傷害の多くはこれらの要因に対する適切な対策を行うことによって防止できること、また、自然 第 2 章 保健体育科の 目標及び内容 220 災害による傷害の多くは災害に備えておくこと、災害発生時及び発生後に周囲の状況に応じて安全に行動すること、災害情報を把握することで防止できること、及び迅速かつ適切な応急手当は傷害の悪化を防止することができることなどの知識及び応急手当の技能と、傷害の防止に関する課題を解決するための思考力、判断力、表現力等を中心として構成している。

3 単元の目標

知識・技能	傷害の防止について、課題の解決に役立つ基礎的な事項及びそれらと生活とのかわりを理解することができるようにする。
思考力・判断力・表現力等	傷害の防止について課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、科学的に考え、判断し、それらを表現できるようにする。
学びに向かう力・人間性	傷害の防止について関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組もうとすることができるようにする。

4 生徒の実態と指導観

本授業のクラスは、全体として明るい雰囲気での授業となりやすく、男女の仲もいい。また、外での部活動に所属している生徒が多いせいも天気などの自然環境へ関心が高い。加えて、台風だけでなく地震の話なども話題にあがっていることが日常的に見受けられる。

現在では海辺や山間部の地域だけでなく、都心部でも容易に自然災害は起こる。そんないつ・どこで起きてもおかしくない自然災害に備えて、過去に起きた事例だけでなく、住んでいる地域での事例も取り上げながら今を生きる私たちに求められる知識や行動策を身近な問題として考え、話し合いながら取り組める授業を展開していきたい。

5 単元及び学習活動に即した評価規準

健康安全への知識・技能	健康安全についての思考力・判断力・表現力等	健康・安全について、主体的に学習する態度
<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因や環境要因などが関わって発生することを理解している。 ・交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、環境の改善によって防止できることを理解している。 ・自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できることを理解している。 ・応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができることを理解しているとともに、また、心肺蘇生法などの技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・傷害の防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・傷害の防止についての学習に自主的に取り組もうとしている。

6 指導と評価の計画

時間	主な学習内容	知識	思・判・表	学び
1	障害の原因と防止			
2	交通事故の現状と原因			
3	交通事故の防止			
4	犯罪被害の防止			
5	自然災害に備えて ・自然災害にはどんなものがあるのか。 ・何に備え、どう行動すればよいか。	○		

7 本時の展開

① 本時の目標

- ・自然災害による被害を防ぐにはどうすればよいか理解しよう。
- ・自然災害発生時にはどう行動すればよいか、具体的な場面を想定して考えよう。

②展開

段階	学習活動 【 学習内容 】	指導上の留意点 ◇評価
導入 8分	<p>○自然災害といえはまずなにを思い浮かべますか。</p> <p>ー地震</p> <p>→・いつ・どこで・どんな規模で ・なんかい 来るかわからない</p> <p>☆備えておくことが必要であると気づく。</p> <p>○では地震が次のような場所で起こったとき、どのような行動をとればよいでしょうか。(ワークシート記入)</p> <p>(海、山、東女(体育館))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所に行く ・車でその場から離れる 	<p>ワークシートの配布</p> <p>全体へ問いかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近も地震の被害があった石川県を例に紹介する。 <p>先日 26 日 震度 5 弱 M6.6 今年 1 月 1 日 震度 7 M7.6</p> <p>机間指導を行う</p> <p>つまづいている生徒には分かるところ、書きやすいところから書くように声掛けを促す</p>
展開 25分	<p>【自然災害にはどのようなものがあるか知る】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>発問 1：自然災害にはどんなものがあるでしょうか。</p> </div> <p>個人で考える (ワークシート記入)</p> <p>後、近くの人と共有。</p> <p>5 人程度指名、発表</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>予想される生徒の反応：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震 ・津波 ・台風 ・ゲリラ豪雨 ・土砂崩れ </div> <p>自然災害には一次災害と二次災害の二つがあることを知る。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>机間指導</p> <p>何も書けない生徒には発問で出た意見も一つとしてとにかく書いてみるように声掛けを行う。</p> <p>共有の中で違う意見があれば、書き足すように促す。</p> <p>出た案は一次災害と二次災害で分けて板書。</p> <p>出た災害の写真も一緒に提示</p> </div> <p>教科書 p.116 / p.118 参照</p> <p>一次災害：ある災害によってもたらされる直接的な被害のこと。</p> <p>最近の建物は耐震＝構造物の落下・転倒に注意。 例.)阪神淡路大震災 1995 震度 7 M7.3→神戸は古い町であったため建物の倒壊が相次いで発生。</p>

	<p>一次災害だけでなく、それによる二次災害でも十分被害を大きくすることもあることについて知りする。過去の事例にも触れながら理解を深める。</p> <p>[活動]</p> <p>東京女子体育大学にいたときに災害が起きた場合、一番近い避難場所を調べる。</p> <p>それぞれの家から一番近い避難所も調べる。(個人作業)</p> <p>日ごろから家族などと避難について話したり、経路確認をしたり、日ごろの備えが必要である。</p> <p>【災害が起きたときどのような行動をしなければならないのか</p>	<p>報道のへりの音で救助が難航。多くの助かるはずの命が失われた。</p> <p>二次災害：一次災害をきっかけに連鎖的に発生する被害のこと</p> <p>火災→例.)関東大震災 1923 震度6 M7.9:昼食準備であったが、混乱でプロパンガスの転倒。大規模火災。多くの人が亡くなった。現在防災の日</p> <p>津波→例.)東日本大震災 2011 震度7 M9.0:生徒だけでなく近くの町民までが一斉に高台に避難し3000人近くが助かった釜石市の釜石東中学校と鵜住居(うのすまい)小学校。</p> <p>反対に、避難より子供の体力を優先し高台に逃げず多くの生徒が亡くなった、石巻市の大川小学校。</p> <p>それぞれのタブレットで調べる。</p> <p>「〇〇市__避難所」など必要に応じて、検索ワードを提示</p> <p>調べる中で一部表記の違いに気づくと予想される。そこで活動終わりに補足を入れる。</p> <p>避難場所：いったん逃げる場所(東京女子体育大学、国立市立第六小)</p> <p>避難所：避難生活できる場所(立川第三中)</p>
	<div>発問2：災害が起きたときどのような行動が求められるでしょうか。</div>	
	<p>学校(教室)にいる時を想定し、避難行</p>	

○学校で地震が起きたことを想定して、発生直後から情報収集（避難準備）、避難するまでの行動について簡潔に書き出してみましょう。

発生直後画像①を提示



- ・災害情報/緊急地震速報/気象警報の確認（テレビやラジオ正しい情報）
- ・避難経路の確保
- ・二次災害防止

- ・避難場所への避難（安全な経路で）

順を追いながら、一方的な説明ではなく、全体へといかけをし、できるだけ対話形式で説明を行う。

(列を指定するなどランダムに指名)

なぜそのような行動が必要になるか理由まで聞く

	窓	カーテン	ハンカチ	避難
地震	開ける	閉める	必要ない	シャットアウト
火災	閉める	開ける	必要	すぐ離れる・逃げる

発問3：避難するとき何が必要ですか。

○これは避難するときにもっていくバックです。この中には何を入れたらよい

画像②を掲示

	<p>ですか。何が必要ですか。災害の条件は地震の時とします。</p> <p>グループで話し合い、ボードに書き出す。(何個でも)(5分間)→前に掲示</p> <div data-bbox="258 400 754 698" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>予想される生徒の反応：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水・お金・食料・懐中電灯・充電器・服 </div> <p>首相官邸が公式に出しているチェックリストを提示し、見比べる。答え合わせ。</p> <p>避難にはこれだけの持ち物が必要で、日ごろから備蓄しておくことが重要であることを知る。</p>	<p>ボード配布 机間指導</p> <p>PDF①の提示</p> <p>グループで多く出て、合致していたものをいくつかピックアップして読み上げる。また、女性は生理用品、小さい子がいる場合はミルクや使い捨て哺乳瓶、高齢者は杖やお薬手帳などニーズによって特有の必需品があることも理解させる。</p> <p>教員が実際に準備していることがあれば紹介する。←親近感</p> <div data-bbox="786 1724 1433 1989" style="border: 1px dashed blue; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>◇自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できることを言ったり、書き出したりしている。</p> <p>A 評価</p> <p>自然災害による傷害の多くは、災害に備えておく</p> </div>
--	---	---

		<p>こと，安全に避難することによって防止できることをより多く言ったり、書き出したりしている。</p> <p>C 評価</p> <p>自然災害による傷害の多くは，災害に備えておくこと，安全に避難することによって防止できることを理解できておらず、言ったり書き出したりがでていない</p> <p>C 評価の生徒への手立て</p> <p>いくつかの例を提示し、自分が出来そうなことを促すために個別に声掛けを行う。</p>
ま と め 5分	<p>○授業を通して災害について考えたこと、できると思った対策について学習シートに書き出す。(個人)</p> <p>何人か発表(時間に応じて)</p>	<p>より具体的に自らの考えがかけているか声掛け。(机間指導)</p>

8

板書計画

自然災害に備えて

1 自然災害をしよう

一次災害：直接的な被害

事例と写真（地震、台風、、）

二次災害：一次災害を機に連鎖的に起こる被害

事例と写真（津波、土砂崩れ、、）

2 自然災害が起こったとき

直後 → 情報収集/避難準備 → 避難

画像①

	窓	カーテン	ハンカチ	避難
地震	開ける	閉める	必要ない	シャットアウト
火災	閉める	開ける	必要	すぐ離れる・逃げる

緊急地震速報
 気象・災害警報
 →正しい情報を確認

1 班

画像②

防災バック

2 班

3 班

4 班

5 班

6 班

9 資料 3 避難に必要なものとは

画像①



PDF①

<https://www.kantei.go.jp/jp/content/000111250.pdf>

画像②



災害の「備え」チェックリスト

非常用持ち出し袋 避難の際に持ち出すもの！

<input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 食品 <small>に備「7人分が理想だが、いざという食品、ビスケット、チョコレート」 紙パックなど「最低3日分が理想」</small> <input type="checkbox"/> 防災用ヘルメット・防災ずきん <input type="checkbox"/> 衣類・下着 <input type="checkbox"/> レインウェア <input type="checkbox"/> 紐なしのズック靴 <input type="checkbox"/> 懐中電灯（※手回し式がおすすめ） <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ（※手回し式がおすすめ） <input type="checkbox"/> 予備電池・携帯充電器 <input type="checkbox"/> マッチ・ろうそく <input type="checkbox"/> 救急用品 <small>ばんそうこう、包帯、消毒薬、絆創膏など</small> <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> ブランケット	<input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 洗面用具 <input type="checkbox"/> 歯ブラシ・歯磨き粉 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ペン・ノート <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 手指消毒用アルコール <input type="checkbox"/> 石けん・ハンドソープ <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> 貴重品 <small>（現金、現金、パスポート、運転免許証、保険の証書等、 マイナンバーカードなど）</small>
---	--

子供がいる家庭の備え

<input type="checkbox"/> ミルク（キャップタイプ） <input type="checkbox"/> 使い捨て哺乳瓶 <input type="checkbox"/> 離乳食 <input type="checkbox"/> 携帯カトラリー	<input type="checkbox"/> 子供用紙オムツ <input type="checkbox"/> お尻ふき <input type="checkbox"/> 携帯用お尻洗浄機 <input type="checkbox"/> ネックライト	<input type="checkbox"/> 抱っこひも <input type="checkbox"/> 子供の靴
---	---	---

女性の備え

<input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> おりものシート	<input type="checkbox"/> サニタリーショーツ <input type="checkbox"/> 中身の見えないごみ袋	<input type="checkbox"/> 防犯ブザー／ホイッスル
---	---	--------------------------------------

高齢者がいる家庭の備え

<input type="checkbox"/> 大人用紙パンツ <input type="checkbox"/> 杖 <input type="checkbox"/> 補聴器	<input type="checkbox"/> 介護食 <input type="checkbox"/> 入れ歯・洗浄剤 <input type="checkbox"/> 吸水パッド	<input type="checkbox"/> デリケートゾーンの洗浄剤 <input type="checkbox"/> 持病の薬 <input type="checkbox"/> お薬手帳のコピー
--	--	---

備蓄品
（お家に備えておくもの）

☐ 食料や水（最低3日分！できれば1週間分）×家族分
保存期間の長いものを多めに買って置き、消費したら補充するという習慣にしていれば、常に食料の備蓄が可能です！

☐ 生活用品
例えば、ティッシュ、トイレットペーパー、ラップ、ゴミ袋、おしぼり、歯磨き粉、洗剤など

ほかにも、家庭で必要なものは日ごろから備えておきましょう